

那覇市立教育研究所

研究所だより



那覇市金城3-5-3
所長 田中 浩三

修了式を迎えた前期教育研究員

●9月28日(水)、半年間にわたり研究を重ねてきた第96期教育研究員の成果報告会及び修了式が開催されました。那覇教育事務所所長崎原永輝様をはじめ、多くの来賓の皆様が見守る中、本研究所所長から研究員は緊張した面持ちで修了証書を受け取りました。



学校訪問から
「授業改善策」を見る

所長 田中 浩三

那覇市教育委員会による市内幼小・中学校の学校訪問が九月二十九日をもってすべて終了しました(計六回)。いずれの学校においても校長の経営方針の下、幼児児童生徒の学力向上推進や生徒指導等、地域との連携を図りながら全職員が協働して取り組んでいました。参観した各学校での授業には、「習得と活用」という視点からの工夫改善がみられました。その一端を紹介致します。

○既習事項との関連から本時のめあてを提示し学習の見通しや意欲づけにつなげている。
○問題解決の立式後(算数・数学)、解決過程を「書く」「話す」という言語活動を通して説明させている。

○「表現話型ヒント」や「まず、次に・・・等」のつなぎ言葉を意図的に活用して「書く・話す」活動の充実を図っている。

○ペアや四人グループ等の少人数による交流場面を設定し、どの子にも発言する機会を与える取組が増えている。

○学校全体で「算数ノートの使い方」を確認しながら「書く」ことを重視した指導に取り組んでいる

○指導案に「活用する力を育む」視点を明確に示して授業に臨んでいる。

○指導案に「家庭学習で奨励」や「宿題プリント配布」等を明記し意図的に宿題と連動する取組がある。

以上、各事例とも「知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力の育成」という今日の教育課題に対し、教師自ら創意工夫したり、校内研修を通して取り組んだりしながら着実に実践している様子が見られます。本事例を含め、市内各学校でも同様な実践が多く行われているものと思います。機会ある毎に「授業改善」という視点から紹介したいと考えている一人です。

第96期 研究員 修了式



9月28日(水) 第96期 研究員の皆さんは成果報告会を終え、半年間にわたる研究生生活を修了しました。研究報告書はホームページに掲載しておりますので、ご活用ください。

第96期 教育研究員 成果報告会

9/28(水)



⇒ 第96期「研究員日誌」より抜粋

新たなチャレンジができてよかったです。「プレゼンは発表ではなく伝えること」「伝えるためには情熱を持つこと」という視点でチャレンジできましたが課題もたくさん見つかりました。この半年間最後まで気づきが得られたことに幸せを感じました。



ぎりぎりまで所長、主事の先生方からのご指摘をもとに改善・調整したプレゼンでした。今までこんなに慎重に練り直したことはありませんでした。終わってから、教育長、部長、校長、各先生から「とてもよかったよ」と褒めて頂きホッとしました。吉野課長からの講評を課題に加え、2学期がんばります。



第97期 研究員 入所式



10月3日(月)に第97期研究員の入所式が行われました。

屋嘉部智美	真地幼稚園	幼児教育
勝連 慈士	松川小学校	特別活動
島村 育与	宇栄原小学校	図 工
大城 邦夫	仲井真中学校	道 徳

平成24年度 教育研究員募集のお知らせ

平成24年度の教育研究員の募集要項を11月上旬に発送する予定です。

【前期】第98期 平成24年4月1日～平成24年9月30日(6ヶ月)

【後期】第99期 平成24年10月1日～平成25年3月31日(6ヶ月)

教科・テーマ・テーマ設定理由等の提出書類があります。詳しくは募集要項でお確かめください。(那覇市立教育研究所ホームページまたはDesknet's)

【6ヶ月間の流れ】

理論の研究

研究内容の検討

検証授業



じっくりと時間をかけて研究を深めることができます。ぜひ、チャレンジを!